

# 令和4年度（令和5年度実施）事務事業評価表

事業整理番号 1302 - 26

事務事業名	学校・幼稚園保健関係経費（生理用品の学校への配布事業）	担当組織	教育部	学務課
-------	-----------------------------	------	-----	-----

事業特性												
事業を構成する予算事業	事業開始年度	3年度	事業終了年度		計画／一般	一般	計画事業No.					
	単独／補助	区単独事業	運営形態	直営	関連するSDGsのゴール			1	3	4	5	10
①（保健）小学校配付予算					②（保健）中学校配付予算							

政策体系（令和4年度基本計画）			
地域づくりの方向	子どもを共に育むまち	政策	学校における教育
施策	健やかな体の育成	政策番号	4-3-3
関連する個別計画		計画策定年度	
		計画期間	

## 1. 事業の概要・指標の達成状況

(1)実施の対象（具体的に記載）	区立小中学校の児童・生徒
(2)事業の目的・期待する効果	「すずらんスマイルプロジェクト」への協力事業として、区立小・中学校のトイレ等に生理用品を設置し、児童・生徒が困った時に安心して生理用品が使える体制を整え、安全・安心な学校生活に寄与する。また、教育委員会で発注・支払を行うことで、学校の事務効率化を図る。
(3)事業概要	区立小中学校のトイレ等に生理用品を設置し、困った時に安心して生理用品が使える体制を整える。

(4) 目標の達成状況	4年度の取組内容（4年度に実施した具体的な業務内容）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生理用品の配布</li> <li>・生理用品を収納するBOXの配布</li> <li>・生理用品を収納するBAGの配布</li> <li>・校長、副校長、養護教員への周知</li> <li>・啓発ポスターの配布</li> </ul>						
	成果指標（事業目標の達成度）	成果指標	目指す方向性	単位	3年度（実績）	4年度（計画）	4年度（実績）（達成率）	5年度（計画値）
	①	小学校のナプキン使用数	→	袋	187	1,390	723 52.0%	1,178
	②	中学校のナプキン使用数	→	袋	215	1,166	643 55.2%	677
	③							
指標の説明	区立小中学校に配布した生理用品のうち各学校で使用した枚数							
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	見込みよりも各学校での使用数が少なかったため。					

(5) 取組実績	活動指標（事業の実施状況）	活動指標	目指す方向性	単位	3年度（実績）	4年度（計画）	4年度（実績）（達成率）	5年度（計画値）
	①	小学校へのナプキン配布数	→	袋	694	1,544	463 30.0%	1,309
	②	中学校へのナプキン配布数	→	袋	422	1,296	429 33.1%	752
	③	生理用品を収納する物品の配布数	→	個	250	60	36 60.0%	60
	指標の説明	区立小中学校に配布した生理用品および生理用品を収納する物品（BOXとBAG）の配布数						
未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	見込みよりも学校からの発注が少なかったため。					

## 2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	3年度		4年度			5年度	
	予算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R4決算比）
事業費	A	0	187	1,154	192 16.6%	754	562
人件費	【正規（人数）】	—	(0.45)	—	(0.45)	(0.45)	—
	【会計年度任用職員等（人数）】	—	(0.00)	—	(0.00)	(0.00)	—
	人件費 B	B	3,825	—	3,825	3,825	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	—	4,012	—	4,017	4,579	562
財源内訳	国、都支出金						0
	使用料・手数料	D					0
	地方債・その他						0
一般財源	E=C-D	—	4,012	—	4,017	4,579	562

### 3. 総合評価及びR5年度以降に向けての対応・改善策

**【指標の達成状況(a)】**  
→S、A、B、C、Dの5段階で評価 **C** 根拠 見込みよりも学校からの発注が少なく、より事業内容を周知していく必要があるため。

※上記の達成状況を踏まえ、評価及びその根拠を記載してください。  
※以下の欄には、①目標に対する成果結果の課題、②指標以外の数値では測れない効果について記載してください。

(1)令和4年度成果と課題

①目標に対する成果状況を踏まえた課題  
学校間で使用量に差があるため、養護教諭との連携により、継続的に事業内容を周知し、安心して生理用品が使えるよう、ひいては安全・安心な学校生活が送れるよう、啓発活動を強化する。

②指標に表れない事業の成果(指標以外の成果)  
本事業は、困りごとのある児童・生徒に寄り添い、すべての児童・生徒の心身と健やかな成長と安全・安心な学校生活の担保のための環境を整えることが目的である。

**【業務(事務)改善に向けての取組み(b)】**  
S、A、B、Cの4段階で評価 → **B** 根拠 今後も各学校からの需要を的確に把握する必要があるが、児童生徒が使いやすい体制を整えているため。

※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。  
※昨年度に何らかの対応、改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。

(2)業務(事務)改善に向けた取組み

①目標に対する成果状況を踏まえた課題(再掲)  
学校間で使用量に差があるため、養護教諭との連携により、継続的に事業内容を周知し、安心して生理用品が使えるよう、ひいては安全・安心な学校生活が送れるよう、啓発活動を強化する。

②現状の実施状況における所管課の認識

事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択の理由	「有」の場合は対応策も記載。
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択の理由	「すずらんスマイルプロジェクト」への協力事業として実施した経緯により、直営が望ましいため。
サービスに係るコストは適正か	適正	選択の理由	庶務課で発注し、業者より各学校に直送している。
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合)事業名	

③上記①、②を踏まえた所管課の対応実施状況

対応、改善を既にを行った	はい	はい	取組内容及び効果	学校との調整は庶務課、支払事務は学務課に分担している。	予算措置	無
対応・改善予定(上記ではいの場合には更なる)	無	無	対応、改善の予定がない理由	学校にも事業が浸透し、円滑に進められているため。		

選択肢に関わらず

対応、改善の内容	有	有	予算措置を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由	予定時期
----------	---	---	-------------------	-----------	------

**【区が実施する必要性(c)】**  
S、A、B、Cの4段階で評価 → **B** 根拠 無償提供することにより、生理の貧困の問題解決の一助となるため。

※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。  
※「区他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。

(3)必要性/優先度

①区が実施する理由(複数選択可)

<input type="checkbox"/>	区他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	<input type="checkbox"/>	法律の要請を受けて行う事業である。
<input checked="" type="checkbox"/>	民間事業者等に同様のサービスがない。	<input type="checkbox"/>	その他(理由)

②区民ニーズ

区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(活動)	①	②	指標番号(成果)	①	②	サービス利用者数	50名以上
	「有」「無」ともに記入		推移	→	→	推移	→	→		

区民ニーズに対する認識  
全国的に生理の貧困に対する問題意識が芽生える中、区でもすずらんスマイルプロジェクトの一環で様々な生理用品配布事業を行っているが、公立小・中学校への配布は教育委員会でのみ実施しており、区民からの賛同の声も届いている。

総合評価(d=a+b+c) **ランク4**

#### 4. R5年6月末時点の状況

<p>①令和5年度当初の課題・ニーズ</p>	<p>・「いつでも設置してあるため安心できる」、「準備をしてトイレに行かなくていいので、他の人に気づかれないのがよい」、「困ったときにトイレに置いてあって助かった」など非常に助かっているとの意見が多い。          ・中学校では、いつでもトイレにあるという安心感により困窮にない生徒が持参しなくなることがあり、これまでのしっかり自己管理をしてみてくださいという指導の効果が薄れていく不安があるという意見がある。          ・配布した生理用品の返却は、令和3年4月14日付で文部科学省より、返却を求めない対応をする旨の通知が发出されており、既にそのように統一的に対応するよう指導している。</p>
<p>②国・都の動き（関係法令の改正・補助金の創設・方針の変更など）</p>	<p>「生理の貧困」に係る取組を実施している（実施した・実施を検討している）ことを把握した地方公共団体は全国で581団体。令和3年7月20日時点          令和3年9月から、都立高校約250校で生理用品を設置。</p>
<p>③令和5年度の方向性・取組方針（事業展開）</p>	<p>(1)各学校の実態に応じ、児童・生徒が困ったときに自由に生理用品を使うことができるよう工夫して、トイレの個室等にBAGやBOXを設置する。          (2)「すずらんスマイルプロジェクト」のポスター掲示等により、困ったときには相談ができる場所があることや、児童・生徒には、困った時には気兼ねなく保健室や指定されたトイレに置いて、生理用品を受け取ることができることを、周知する。          (3)保健室で生理用品を配布する際には、児童・生徒に生理用品以外の困り感等を把握するほか、「自分の体は自分で管理することの大切さ」を引き続き伝える。</p>
<p>④令和5年度の事業進捗状況（6月末時点）</p>	<p>(1)昼用ナプキン          小学校150袋、中学校138袋配布/小学校945袋、中学校710袋使用          (2)夜用ナプキン          小学校168袋、中学校102袋配布/小学校129袋、中学校222袋使用          (3)収納BOX          小学校に6個、中学校に7個配布</p>
<p>⑤区民等からの事業に対する意見・要望</p>	<p>学校からは「急に月経が始まるので、トイレにあると助かる」といった声や、「昼用羽根つきを希望する子が多く、種類をもっと選べると助かる」といった意見がある。また、保護者からも「学校のトイレにナプキンがあるのに、驚きます。子供が急に生理になっても安心です。」と感想が寄せられている。懸念としては、「誰かが使用してはいるが、児童が使っているのか不明」といった点が挙げられた。</p>
<p>⑥上記⑤に対する対応</p>	<p>児童生徒だけでなく保護者からもトイレに生理用品があることに安心だという意見があるため、今後も本事業を継続していく必要がある。使用者の管理ができない点については、もともと児童生徒に限定したのではなく、校庭開放等での学校の利用者の区別なく配布できるようにという趣旨で始まった経緯から、使用者の把握はしていない。ナプキンの種類については、今後検討する。</p>

<p>今後の事業費予算要望(e)</p>	<p>現状維持</p>	<p>根拠</p>	<p>予算規模は維持しつつ、配布するナプキンの種類を増やす等事業内容を検討していく。</p>
----------------------	-------------	-----------	--

<p>今後の事業の方向性(d+e)  <small>(現状の評価および施策評価を踏まえた評価)</small></p>	<p>A:現状維持</p>
---	---------------

#### 《上記判断を踏まえた所管課の認識・R5年度以降に向けての対応》

引き続き、各校から依頼があった際は、迅速に対応し、生理用品を配布する。また、今後も使用量等を分析するとともに、ナプキンのサイズなどについて養護教諭等に確認のうえ精査し、より児童生徒が安心して学校生活を送れるよう支援していく。